

Ⅱ-3

G系で学ぶこととは？（G系シラバス表）

臨床・カウンセリング体験領域 子ども理解・学級集団形成の技術（G系）

科目分類	1000時間体験学修	必修時間数	20時間																
授業科目	子ども理解・学級集団形成の技術（G系）																		
授業題目（英語）	Training of group approach	履修年次・開講時期	2年生後期または3年生前期を割りあてる																
主担当教員	C系G系専任教員																		
授業形態	実習	曜日・時限	別途参照																
授業の目的	<p>■ねらい この実習では、いじめや不登校への対応や、こころの問題を抱える児童・生徒に対する適切なケア、または学級崩壊などの今日における教育的課題について理解を深め、これらの課題に対応する上で必要となる、臨床マインド（相手の気持ちを理解し、相手の気持ちに添った関わりができる知識・技能・態度）を養うことを目的とします。G系ではグループによるディスカッションなどの体験を通じて、自己表現・協力・リーダーシップ等を学びます。他者との関わりを中心としたこの学びから、子ども理解、学級集団形成に役立つ視点を獲得することを目指します。</p> <p>■カリキュラムの位置づけ この実習は、1000時間体験学修における臨床・カウンセリング体験領域に属する体験内容です。2年前期に開講される2つの講義（コア授業科目）「生徒指導・進路指導論」、「臨床教育相談論」による知的理解を踏まえた上で、この実習では個人、あるいは小グループによる臨床心理学的な体験を通じ、カウンセリング・マインドについて学びます。</p>																		
科目の到達目標（達成度）	<p>以下の3点を目標とします。</p> <p>a) 【協力・協働性の醸成】自分に与えられた課題について、他者の意見を受容しながら、自分の意見を主張することができる。</p> <p>b) 【共感・想像力の活性】メンバーの行動や感情を理解しようとする態度を持ち、その言動の背景を想像力を用いて相手の気持ちに近づくことができる。</p> <p>c) 【問題解決力・学級経営の習得】学級集団形成に関わる知識や技能を習得する。</p>																		
授業の内容	<p>学級集団形成に関する知識・技能の習得を目的とし、実習を行います。具体的な内容は以下の通りです。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>6. コンセンサス学習 わらじ物語</td> </tr> <tr> <td>2. 偏愛マップ</td> <td>7. アクションメソッド</td> </tr> <tr> <td>3. 印象ゲーム</td> <td>8. プレイシアター1</td> </tr> <tr> <td>4. コンセンサス学習 サバイバル</td> <td>9. プレイシアター2</td> </tr> <tr> <td>5. 10 wishes list</td> <td>10. 全体ふりかえり</td> </tr> </table> <p>特別講義については教育現場、あるいはそれに隣接領域の外部講師を招き、各専門領域についての講義を行います。</p> <table border="0"> <tr> <td>11. 児童虐待とその被害による影響</td> <td>14. 教育センターにおける教育相談</td> </tr> <tr> <td>12. 中学校における生徒指導・教育相談の実際</td> <td>15. 学校教育におけるスクールカウンセラーの関わり</td> </tr> <tr> <td>13. 生徒指導・教育相談の課題 ～教育行政の立場から～</td> <td></td> </tr> </table>			1. オリエンテーション	6. コンセンサス学習 わらじ物語	2. 偏愛マップ	7. アクションメソッド	3. 印象ゲーム	8. プレイシアター1	4. コンセンサス学習 サバイバル	9. プレイシアター2	5. 10 wishes list	10. 全体ふりかえり	11. 児童虐待とその被害による影響	14. 教育センターにおける教育相談	12. 中学校における生徒指導・教育相談の実際	15. 学校教育におけるスクールカウンセラーの関わり	13. 生徒指導・教育相談の課題 ～教育行政の立場から～	
1. オリエンテーション	6. コンセンサス学習 わらじ物語																		
2. 偏愛マップ	7. アクションメソッド																		
3. 印象ゲーム	8. プレイシアター1																		
4. コンセンサス学習 サバイバル	9. プレイシアター2																		
5. 10 wishes list	10. 全体ふりかえり																		
11. 児童虐待とその被害による影響	14. 教育センターにおける教育相談																		
12. 中学校における生徒指導・教育相談の実際	15. 学校教育におけるスクールカウンセラーの関わり																		
13. 生徒指導・教育相談の課題 ～教育行政の立場から～																			
授業の進め方	<p>毎回1つの実習課題を集団での演習形式で取り組みます。毎回講義の最後に、体験をふまえた個人感想レポートの提出を求めます。</p>																		
授業キーワード	<p>構成的グループエンカウンター、学級集団形成</p>																		
テキスト	<p>教育支援センター配布テキストを使用します。</p>																		
参考文献	<p>必要に応じて適宜紹介します。</p>																		
その他授業資料等	<p>課題内容等の講義資料を適宜配布します。配布資料、感想レポートは各自ファイルに綴じて管理してください。</p>																		
時間認定の方法	<p>1回の実習を2時間とカウントし、10回を体験することで20時間の必修時間数となります。詳細は別途説明しますが、10回全て出席することを原則とします。</p>																		
オフィスアワー	<p>特に設けません。</p>																		
履修上の指導	<p>他講義等と時間が重複する等、やむを得ない理由が生じた場合は速やかに相談すること。</p>																		
その他	<p>連絡事項は1000時間体験学修（臨床・カウンセリング体験領域）の掲示板において掲示します。各自確認をすること。</p>																		